

親世流
伍吉譜

特44

789

東 京 圖 書 館				
和書門	空日樂類	函	二六架	三號
				六二冊

信吉指



信吉の神主。當社の表
板を洗はぬ。おこく

ほまれあり。あまのついでに。おこく

る宿。おの子細有る。當社は。おこく

指。おこく。おこく。おこく。おこく

信吉指

百廿一 花田 山崎 徳也 山崎 徳也

志を成さくしむる申付る事と

存信 モノ立宛 小車 山崎 徳也 山崎 徳也

珍らうの ノ 直心 ノ 山崎 徳也 山崎 徳也

集 作是 ノ 山崎 徳也 山崎 徳也 威光 山崎 徳也

山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也

山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也

山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也

山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也

山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也

山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也

山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也 山崎 徳也

山崎 徳也

アタラシク
なつてゆく

ハコトノ
カタチヲ

シテ
シテ

クニ
クニ

ノコ
ノコ

トモ
トモ

ノコ
ノコ

ノコ
ノコ

ノコ
ノコ

ノコ
ノコ

ノコ
ノコ

ノコ
ノコ

和光同七ん（カ）結縁（カ）の心
志（カ）あハ相成道ハ利物表（カ）と
あ（カ）兒（カ）まで國富（カ）と（カ）あ（カ）ら（カ）れ（カ）し
濟（カ）ら（カ）り（カ）を（カ）治（カ）る（カ）あ（カ）ら（カ）ん（カ）と
今（カ）の（カ）口（カ）は（カ）美（カ）信（カ）目（カ）出（カ）た（カ）う
吸（カ）は（カ）あ（カ）ら（カ）ん（カ）祝（カ）言（カ）と（カ）ま（カ）ら（カ）ん（カ）と
ま（カ）ら（カ）ん（カ）祝（カ）言（カ）と（カ）ま（カ）ら（カ）ん（カ）と
祚（カ）主（カ）濟（カ）幣（カ）と（カ）け（カ）け（カ）祝（カ）言（カ）
と（カ）ま（カ）ら（カ）ん（カ）謹（カ）上（カ）再（カ）拜（カ）敬（カ）白（カ）祚（カ）意（カ）と
ま（カ）し（カ）め（カ）の（カ）祚（カ）樂（カ）ハ（カ）ん（カ）の（カ）ハ（カ）し（カ）女（カ）也（カ）人（カ）也
祚（カ）主（カ）あ（カ）の（カ）祝（カ）言（カ）の（カ）勢（カ）と（カ）ま（カ）ら（カ）ん（カ）と
う（カ）の（カ）報（カ）の（カ）勢（カ）と（カ）ま（カ）ら（カ）ん（カ）と
祚（カ）主（カ）の（カ）勢（カ）と（カ）ま（カ）ら（カ）ん（カ）と

經書

神子幾久の天地の御中
奉平諸人使樂福壽象満心守
可め延やねたの可の諸を
く成物皆令満足ある也
青一方の清教の御中
まく有難と祈るの御
ク

受取の御中感涙の御中

美し〜枝の御中

美し〜御中

美し〜御中

美し〜御中

美し〜御中

五三

七

1. ...
 2. ...
 3. ...
 4. ...
 5. ...
 6. ...
 7. ...
 8. ...
 9. ...
 10. ...

11. ...
 12. ...
 13. ...
 14. ...
 15. ...
 16. ...
 17. ...
 18. ...
 19. ...
 20. ...

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

ていふことゝなれりやう

はなはだこころよく思はれり

なほおこころよく思はれり

なほおこころよく思はれり

なほおこころよく思はれり

なほおこころよく思はれり

なほおこころよく思はれり

なほおこころよく思はれり

なほおこころよく思はれり

なほおこころよく思はれり

なほおこころよく思はれり

なほおこころよく思はれり

明治

二十

海なるを世に舞。あまのこほり
 へて。舞。あまのこほり
 へて。舞。あまのこほり
 へて。舞。あまのこほり
 へて。舞。あまのこほり
 へて。舞。あまのこほり
 へて。舞。あまのこほり
 へて。舞。あまのこほり
 へて。舞。あまのこほり

ちさか珠のほりまへ
 田鶴のあまのこほり
 折るる。あまのこほり
 一々。あまのこほり
 昨。あまのこほり
 夜。あまのこほり
 ちさか珠のほりまへ

